

大好きな街 応援します

金融円滑化への取組み

当金庫は、地域における金融の円滑化を図ることを使命として、地域社会の発展に貢献しています。小口多数取引を貸出運営の原則とし、中小企業・個人事業者と地元住民の金融機関として、良質な資金を安定的に供給することが当金庫のもっとも重要な役割です。

中小企業・個人事業者および個人のお客さまに必要な資金を安定的に供給するため、「金融円滑化のための基本方針」と「金融円滑化管理規程」等を定めるなど、金融仲介機能の発揮に向けて態勢を整備しています。

また、経営課題の解決に向けた提案等のコンサルティング機能を発揮し、地域金融の円滑化に全力で取り組んでいます。

資金需要や貸出条件変更等の相談については、お客さまが直面している課題を十分に把握した上で、その解決に向けてきめ細かな対応をとっています。

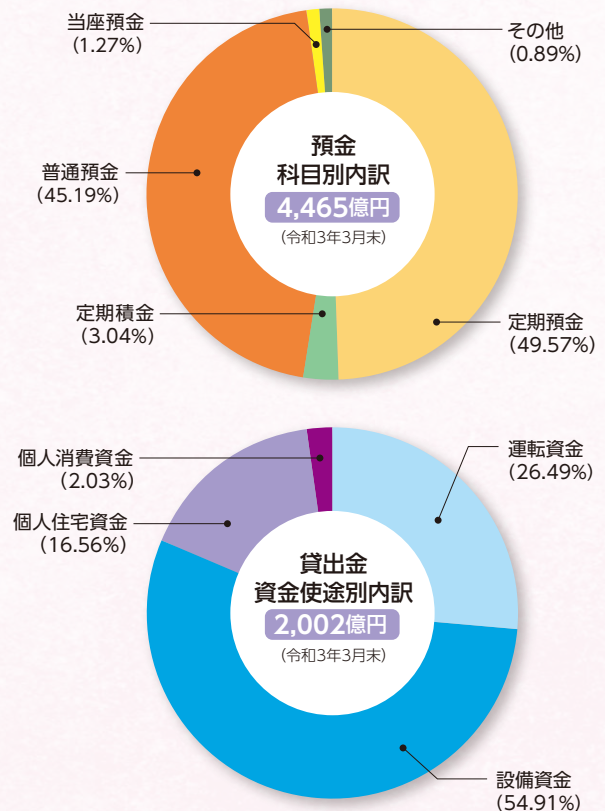
● 地域・お客さまの課題解決に向けて

当金庫は平成27年度に策定した長期経営戦略ビジョン「お客さまとのFace to Faceによるリレーションを強化し、身近な相談相手として寄り添える地域になくってはならない金融機関を目指す」のもとで、令和3年度から新たな中期経営計画に取り組んでいます。「お客さまの役に立つ」と「お客さまとの長期的な関係の構築」の実現および「経営の持続可能性の向上」を戦略目標に掲げ、当金庫本支店周辺地域のお客さまの課題を具体的に解決することを通して、当金庫の存在感を高めてまいります。

昭和信用金庫は設立以来、事業と暮らしの資金を安定的に供給し、地域金融の円滑化に努めることにより、信用金庫としての社会的役割を果たしてまいりました。

創業・新事業や事業の成長段階における支援をはじめ、経営改善や事業再生、業種転換や事業承継等の経営課題の解決に向けて取り組んでいます。また、個人のお客さまの生活向上など、それぞれのライフステージにおける支援・提案を行っています。

さらに地域社会の一員として、イベントや行事などさまざまな方面に参画して地域との共存共栄を図り、昭和信用金庫は「大好きな街」を応援しています。



創業・新事業支援への取り組み

当金庫は、初めて起業される方や新事業展開を計画する事業者への支援を積極的に行っています。

また、創業支援・ベンチャー企業支援・経営革新推進などの分野において外部機関との連携を一層強化し、きめ細かく取り組んでいます。

▶ 令和2年度の創業・新事業支援融資の実行件数は38件、実行金額は2億14百万円となりました。

当金庫は、創業期の取引先を継続して支援するため、「しょうわ創業応援団」と名付けた活動に平成29年7月から取り組んでいます。毎月の定期訪問を通して、事業の状況を適切に把握し、お客さまとの相互理解を深め、当金庫が“お客さまの一番の理解者・相談相手”として事業運営や経営に必要とする適切な支援を行うものです。外部機関と連携したセミナーなどによる情報提供や、当金庫で行うビジネスマッチング、食品事業者向けの物産展への優先案内を行っています。

▶ 当金庫をはじめとする世田谷区の8団体が参画した産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画が平成30年8月に国から認定され、当金庫は事業計画策定などの個別支援を実施し、創業を支援しています。

創業を目指す方々は、当支援事業を受けて一定の条件を満たせば創業融資の拡充や税の優遇措置が受けられます。

▶ 当金庫は、新型コロナウイルスの影響を受け、新規事業に取り組む事業者を支援する「中小企業等事業再構築促進事業」の補助金申請にあたって、補助事業計画書の作成および申請を支援しています。認定経営革新等支援機関として当金庫は、令和3年5月7日に締切りの第1回目の公募では、計21先の取引先に対して申請支援を行いました。

インキュベーション施設 「スタートアップえびす」「スタートアップしもきた」がオープン

「スタートアップえびす」—令和2年11月2日オープン

昭和えびすビル（当金庫えびす支店）5～7階に東京都認定の創業支援施設（インキュベーション施設）「スタートアップえびす」がオープンしました。当金庫は地域社会の産業や雇用の創出に貢献するため、法人・個人の創業者（予定者）への支援をあらゆる角度から積極的に推進しています。また、多種多様な人々の集いが情報発信源となり、つながり、育ち、羽ばたくことで当地域の活性化への貢献を目指しています。

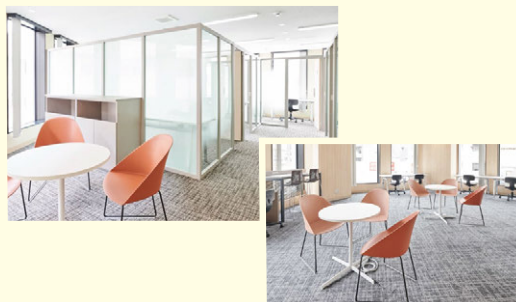
「スタートアップえびす」の特長

〈好立地〉

恵比寿駅から徒歩3分、本店登記・住所利用可能

〈ローコスト〉

創業初期費用を抑えるシェアオフィス
（約5.7㎡が月額40,000円～）



「スタートアップしもきた」—令和3年5月6日オープン

本店・本部の新館2階に「スタートアップしもきた」がオープンしました。スタートアップえびすと同じく都認定のインキュベーション施設です。法人・個人の創業者（予定者）に対し、下北沢で約90年間営業し、地域とともに成長してきた当金庫だからこそできるネットワークを活かした多面的なサポートを行い、地域活性化につながる創業支援を強化しています。

「スタートアップしもきた」の特長

〈好立地〉

下北沢駅から徒歩3分、本店登記・住所利用可能

〈ローコスト〉

創業初期費用を抑えるシェアオフィス
（約7.8㎡が月額33,000円～）



両施設共通の利点

〈清潔で快適な施設〉

・プライバシーを確保しながら開放感もある個室空間と多目的に活用できるシェアスペース

〈入居者への多面的な当金庫サポート・サービス〉

・インキュベーションマネージャーによる経営ノウハウの提供・相談
・入居者対象セミナーの開催
・創業期、成長期、各ステージに適した専門家の紹介
・当金庫のネットワークによる事業支援（外部専門家との個別相談会も定期的実施）

お客さまの経営課題解決の支援

● 経営改善支援

当金庫は、取引先企業の業績向上、経営安定化および事業継続に寄与することを目的に、本部と営業店が連携して経営改善支援活動に取り組んでいます。

● 事業承継支援

後継者不在が課題の取引先企業に向けて、当金庫はM&A（企業の合併・買収）の仲介や、必要な資金の支援を行っています。M&Aの仲介では、従業員の雇用維持や地域社会への貢献などを行うために、事業継続を望みながらも経営者の高齢化と後継者の不在が課題となっている企業等と、事業領域の拡大と経験豊富な人材の確保などの希望がある企業とのマッチングを行っています。

● 新現役交流会

高度で専門的な知識や豊富な経験と人脈をもつ新現役人材（企業OB）と取引先企業経営者が一堂に会して、販路開拓や海外展開の支援、人材・後継者の育成など企業が抱



令和1年度開催時



えるさまざまな経営課題の解決を図るために新現役交流会を関東経済産業局および東京都信用金庫協会の共催により開催しています。

なお、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の当交流会は開催中止としました。現在、社会状況を注視しながら、次回開催を検討しています。

● 専門家派遣事業

当金庫では、中小企業庁が運営する企業支援の経験豊富な専門家が無料で助言・支援を行う「ミラサポ専門家派遣制度」を活用し、売上拡大や販路開拓、経営改善など、中小企業・個人事業者のさまざまな経営課題の解決を支援しています。

各種相談会

税務・経営相談会

事業者を対象に、当金庫とTKC*東京都心会が連携した無料相談を毎月第2水曜日にサポートプラザで開催しています。資産（贈与・相続）対策、事業承継対策、事業採算・資金繰りの改善など税務に関連する相談や経営課題について、専門家（税理士・公認会計士）が相談に応じています。令和2年度は累計で5社が参加しました。

*TKCは全国で1万人以上の会員を有する税理士・公認会計士のネットワーク。

人事・労務経営相談会

各種助成金申請、テレワーク等の働き方の変化に対応した社内規定・評価制度の制定・見直しなど、事業者が直面する人事・労務の課題解決のための相談会です。当金庫は東京都社会保険労務士会世田谷支部と連携し、毎月第4水曜日にサポートプラザまたはオンライン（ZOOM）にて社会保険労務士との無料相談会を開催しています。令和2年度は累計で8社の参加がありました。

経営に関する弁護士相談会

新型コロナウイルスの影響による業況の悪化を理由とした一方的な契約解除や報酬の減額などの契約・取引に関するトラブル、クレーム対策、損害賠償、事業再建および倒産等、法律に関わる経営課題を抱えている事業者に向けて、当金庫と東京三弁護士会*が連携し、無料相談会を毎月第3水曜日にサポートプラザまたはオンライン（ZOOM）にて開催しています。令和3年4月21日、5月19日に開催し、6社が参加しました。

*東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会。

オンライン個別経営相談会

国が設置した中小企業等の経営相談所「東京都よろず支援拠点」と連携した相談会です。取引先企業の売上拡大、PR強化、IT化等さまざまな経営課題の解決を図るために、企業支援の経験豊富な同拠点の専門家・コーディネーターとのオンライン個別経営相談会を実施しています。当金庫サポートプラザで無料・予約制で随時開催しています。

●取引先の従業員を支援

従業員の定着と生活の安定化に寄与する制度を平成28年4月から実施しています。当金庫と取引先との間で交わされた「職域サポート契約書」に基づき、取引先の役員・従業員は融資商品の金利面の優遇や、旅行で割引などが受けられます。令和3年3月までの累計で、1,589先の取引先企業に導入されています。

●しょうわビジネスクラブ

「地域密着型金融」の取組みの一環として、取引先企業の発展のために当金庫は「しょうわビジネスクラブ」を令和1年12月に設立しました。会員は、異業種交流会・講演会・懇親会を通して、事業や経営情報の収集、相互の情報交換、ビジネスマッチングによる課題解決、人脈形成等を図り、地域全体の経済発展に貢献することを目的としています。

令和2年度はコロナ禍のため活動に制限が生じましたが、11月12日に東京海上日動火災保険株式会社との共催により、インターネットセキュリティの専門家を講師に「サイバーリスク・オンラインセミナー～テレワーク拡大で高まる中小企業のサイバーリスク～」と題した無料WEB（ZOOM）セミナーを開催しました。当日は29名が参加しました。

●産学連携による地域の活性化

当金庫は、世田谷地域の活性化を図ることを目的に、駒澤大学および昭和女子大学と平成25年に産学連携協定を締結しています。地元の企業が学生の発想を経営に活かす機会や学生がビジネスを学ぶ機会を創出し、また、創業・中小企業支援、商店街の活性化、人材育成など、多岐にわたり地域の活性化に取り組んでいます。

また、平成27年に締結した東京都立産業技術高等専門学校との連携協定では、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、人材の育成、教育支援、中小企業支援の活動を両者が連携して実施し、東京都の発展を図ることを目的としています。



渋谷区 スタートアップコンソーシアム「Shibuya Startup Deck」への参画

渋谷区では、スタートアップ企業を主軸に、新しいことに取り組む人と企業を支援するための組織「Shibuya Startup Deck」を令和2年11月12日に設立し、当金庫も会員として参画しています。

同組織は、今後の具体的な取組み内容として①共助のあるコミュニティづくり②インフラの整備③新サービス・新技術の社会実装実験④グローバル化の4点を推進し、当金庫も積極的に活動していきます。

〈主な会員企業〉

東急、東急不動産、みずほ銀行、三井住友銀行、ヤマハ、ビームス、セコム、LINE、青山学院大学、ナイキジャパン、NTTドコモ 他



お客さまとともに

●コンサルティング業務の強化

当金庫は、お客さまの課題解決に対応できる知識・能力の向上や新しい発想力の醸成などにより、コンサルティング機能の向上に取り組んでいます。

キャリアプランに基づく研修体系、自己啓発、OJTなどを通して職員を教育し、資格の取得を奨励しています。令和3年3月末時点で、中小企業診断士4名、社会保険労務士1名、FP技能士1級1名、同2級99名、同3級111名、宅地建物取引士23名を擁し、お客さまのお役に立てるよう努めています。

●各種相談業務への取組み

「お金のホームドクター」として、各店舗でローンや年金、資産活用などの相談を受け付けています。また、休日にもローン相談会や年金相談会を開催しています。

●各種専門業者の紹介

当金庫は、お客さまの課題解決を支援するため、専門業者を紹介する活動を行っています。不動産や相続についての複雑な手続きから、事業者の皆さまの人手不足といった課題のご相談まで受け付けています。



ビジネスマッチング

当金庫は、お客さまの販路拡大と売上の増加に貢献できるよう、お客さまへビジネスマッチングの機会を提供しています。毎年2つの交流会を主催、来場者数は毎回増加しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、お客さまの安全・安心を第一に考え、開催中止としました。現在、社会状況を注視しながら、次回開催を検討しています。

▶ビジネスマッチング交流会

内容: 取引先企業の販路拡大、製品・商品・サービス・技術のPR、他社・多業種との新たな連携、販売先の拡大など、ビジネスチャンス創造と創業者支援の場を提供するための交流会

主催: 昭和金融庫



令和1年度開催時

▶TOKYO三ツ星バザール

内容: 食品・非食品の事業者を中心に出展。都内地域産品の発掘・PRを行う機会を提供するための物産展

主催: 昭和金融庫



令和1年度開催時

当金庫の「本店・本部」がグランドオープン／「えびす支店」がリニューアルオープン

新「本店・本部」グランドオープン (令和3年5月6日)

58年ぶりの建替えが完了した新「本店・本部」棟は、当金庫が創業した昭和の時代を連想させる「天然木」を多く用い、シンプルなデザインとお客さまの使い勝手の良さの両立を重視しています。

開口部の大型ガラスは、熱線反射 (Low-E) ガラスを採用し、外部にフィンを設置することで省エネと室内環境に配慮し、CO₂削減にも取り組んでいます。

建物の耐震性能は、標準的な強度の1.25倍となっており、避難場所となる国基準の学校校舎と同等です。災害時には、大ホールに帰宅困難者等を約150人受け入れ可能です。井戸水の活用で、手動式ポンプにより水を確保し、水洗トイレが使用できます。

電源喪失時 (停電) の発電設備は、太陽光発電と軽油発電の両機能を備えた設備を有しています。太陽光発電の性能はパネル発電容量14.736kW、蓄電池容量12.6kWで、停電時には6kVAが使用可能 (スマートフォン同時充電20台相当) です。軽油による発電機の性能は通常営業3日分の容量です。

なお、貸金庫は全自動式を採用し、お客さまは土曜・日曜・祝日にも個室で安心してご利用いただけます。

旧「本店・本部」棟は新館として生まれ変わり、創業者 (予定者) 向けインキュベーション施設「スタートアップしもきた」がオープンしました。

駐車場は、地域の賑わいを創出するための各種イベントでも活用していきます。



新「本店・本部」



新「えびす支店」リニューアルオープン (令和2年9月23日)

えびす支店は、昭和51年の開店からご愛顧いただいた旧店舗付近に新店舗 (昭和えびすビル) を新築開店しました。

外観デザインは洗練さに加え、エントランスには重厚さがあります。店内は、お客さまにとって親しみやすい空間となるよう、温もりのあるカラーを使用しています。ATMコーナーと貸金庫室を併設し、明るい雰囲気でご利用いただけます。貸金庫は全自動式で、土曜日ご利用可能です。

建物の耐震性能は、標準的強度の1.25倍となっており、避難場所となる国基準の学校校舎と同等です。また、エレベーターの音声アナウンスは、外国人や視覚障がいの方のために、通常時は日本語・英語で、緊急時には日本語・英語・中国語・韓国語で対応可能です。

なお、同ビルの5～7階には創業者 (予定者) 向けインキュベーション施設「スタートアップえびす」が11月2日にオープンしています。



新「えびす支店」